

学校関係者評価

評価実施日	平成30年 1 月 22 日 (月)			
委員	氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
	戀木 哲也	学校評議員	上野マリエ	学校評議員
	濱田 耕造	学校評議員	藤田 秀美	P T A 顧問
	三好 康子	学校評議員	藤本 治	土地家屋調査士
	中川 義博	学校評議員	松井 英樹	学校関係者
第三者評価委員	作田 良三 (松山大学経営学部教授)			

評 価 ・ 提 言 等
<p>1 全般 生徒・保護者・教職員いずれのアンケートにおいても、肯定的に評価される項目が多い。昨年度のアンケート結果と比べても、全体的に、肯定的な評価が同程度である。</p> <p>2 学習指導について 学校生活の充実、授業の充実ともに、肯定的に評価する生徒が大多数を占めている。特に入学満足度が高く、学校への愛着を高めていると考えられる。 ただ、教職員においては、教育目標の浸透や学習指導の情報交換上の改善がのぞまれる。また、I C T活用の教育環境の充実を求める教職員の意見があり、設備・運用面で改善が期待される。</p> <p>3 生徒指導について 生徒・保護者ともにおおむね肯定的に評価しているが、昨年度同様、自由記述に校則や生徒指導場面に関する要望が散見される。生徒・保護者ともに、教師と生徒の信頼関係づくりに期する想いがみられる。</p> <p>4 進路指導について 例年同様、生徒・保護者ともに高く評価しているが、保護者の評価がやや低下している。総和でみると、昨年度と比べて、2年生・3年生の保護者の評価が低く、自由記述にも進路指導に対する要望がみられる。生徒の評価が例年のように85%超ではあるが、教職員用調査からも、保護者の理解促進がのぞまれる。</p> <p>5 教育環境について 全体的に、大洲高校の特色や学習指導に対する評価が高い水準にあるのに対し、校内整備・美化に関する生徒の評価がやや低下しているが、建物の老朽化、トイレの状況、エアコン使用上の制約が関連していると推察される。衛生面・健康面から考えて、可能な限りでの対応が期待される。</p> <p>6 情報公開について ホームページの更新が頻繁になされている。生徒の活躍している様子がよく分り、地元地域から好評を得ている。</p> <p>7 特色ある学校作りについて 特別活動においては、充実感を得ている生徒は例年通り多く、保護者からの要望がいくつかあるものの、保護者全体の評価は高く安定しており、その充実ぶりがうかがえる。</p> <p>8 学校経営に関して 校務分掌の構成に関する教職員の評価および教育目標の教職員間・保護者への浸透に関する評価の落ち込みが懸念される。 教職員間の連携に関していえば、特に「学校保健・学校安全」の教職員評価が若干低下しており、情報・対応の周知徹底が一層のぞまれる。</p>